



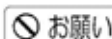
ハニカム・サーモスクリーン取付け・取扱い説明書

安全のために必ずお守り下さい。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。



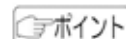
お願い

「禁止」を示しています。



お願い

「必ず行なっていただく事」を示しています。



「作業上」「操作上」の勘所を示しています。

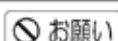
ハニカム・サーモスクリーンは、正しくご使用いただければ、長い間問題なくお使いいただけるように設計されています。お取付け前に、この説明書を必ず最後までお読み下さい。また本説明書はいつでも読める場所に大切に保管してください。



注意

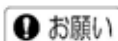
本製品の施工については必ず説明書に従ってください。

取扱い上のご注意



お願い

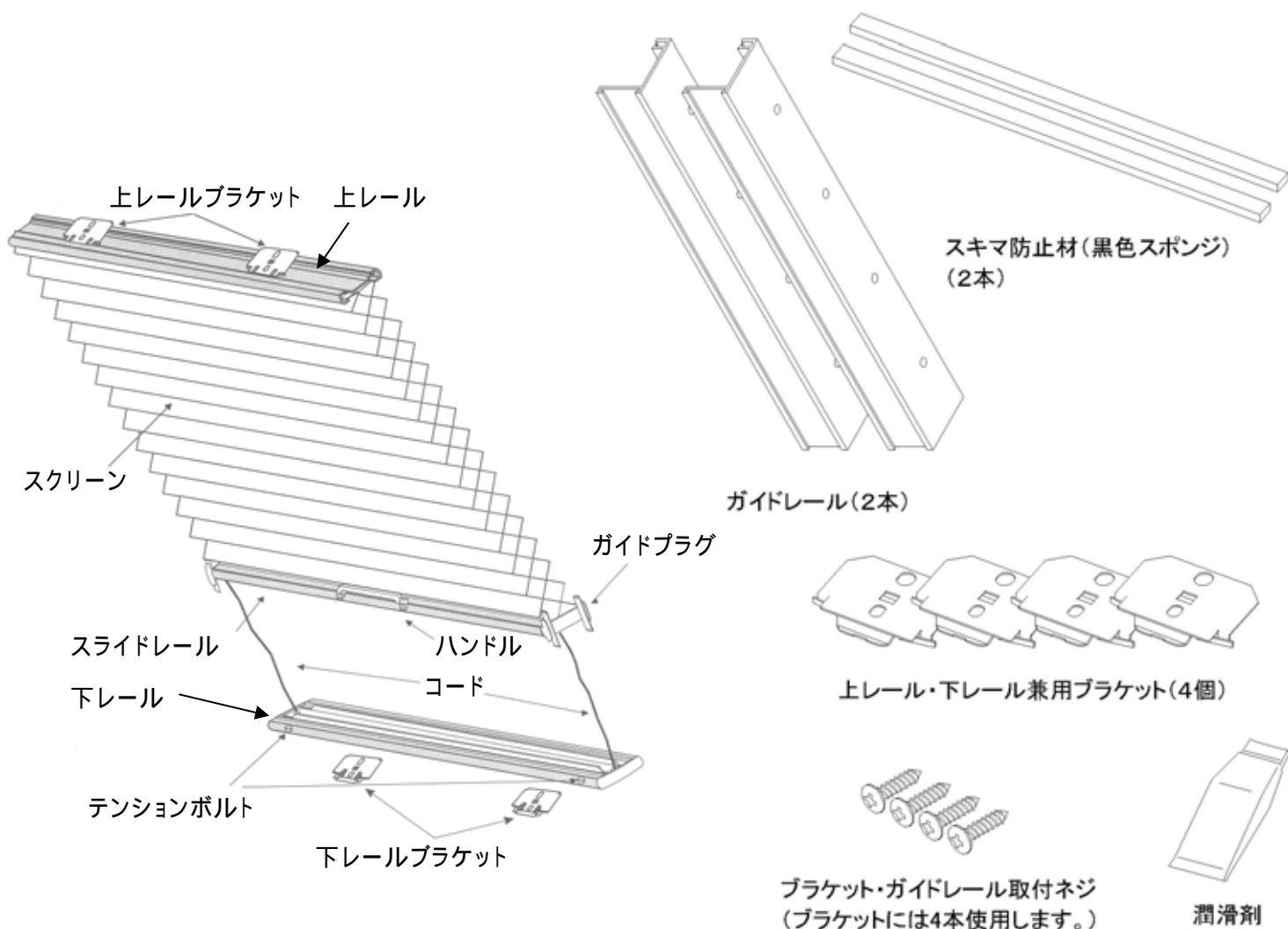
- スクリーンには、たばこの火などの火気は絶対に近づけないでください。
- スクリーンに寄りかかったり、無理に引っ張ったりしないでください。スクリーンの外れや落下、転落事故などにつながり、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
- 無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、スクリーンを破損するばかりではなく思わぬけがの原因となります。開閉操作はゆっくり行なってください。



お願い

- 製品の取付けや、開閉操作を行なう際は、急な脱落などによりケガをしないように注意してください。

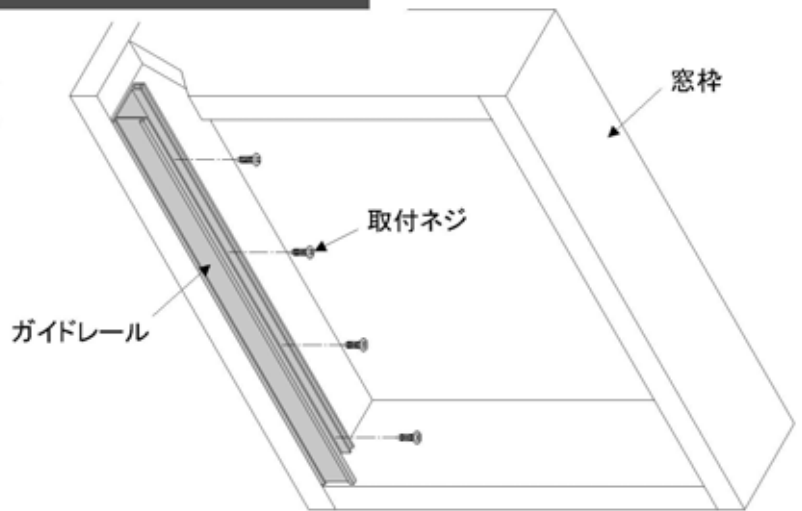
製品各部の名称と付属品の確認



ガイドレールとブラケットの取付け

1. ガイドレールの取付け

両面テープのハクリ紙をはがし、左右のガイドレールが互いに平行になるように仮止めし、取付ネジで取付けます。



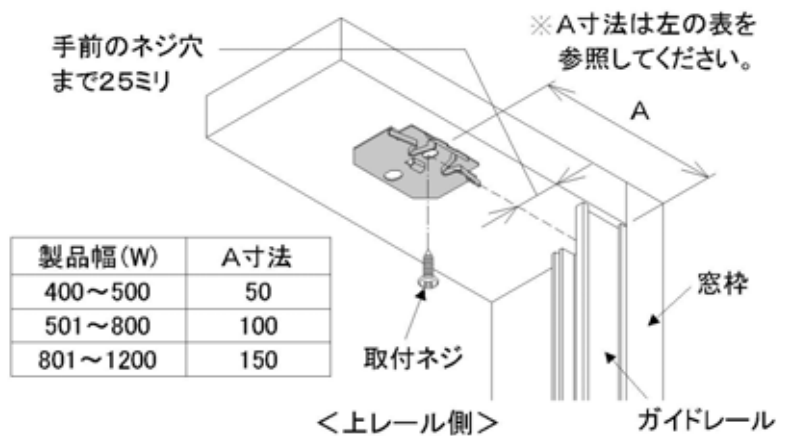
2. 上レールブラケットの取付け

① 取付け位置の確認

左右方向：製品の幅（W）によってブラケットの取付け位置が異なります。右の表を参照してください。
奥行方向：ブラケットのネジ穴（前）がガイドレール前面より25ミリの位置。

② 取付け

仮止め用両面テープのハクリ紙をはがし、仮固定後、ネジ穴（前）を使用し、取付ネジで取付けます。



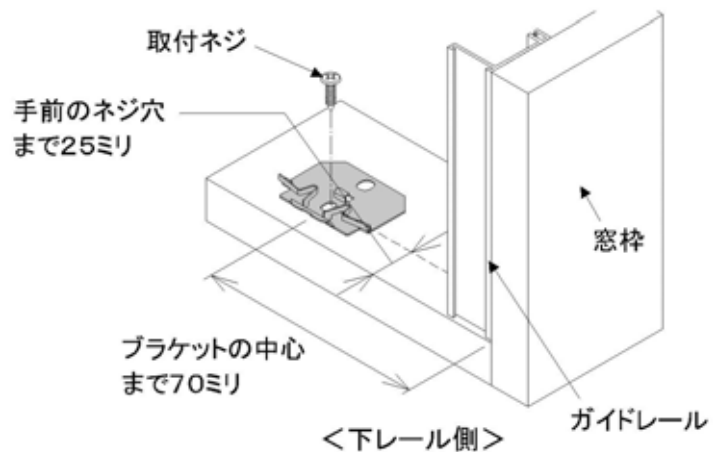
3. 下レールブラケットの取付け

① 取付け位置の確認

左右方向：左右の窓枠から約70ミリの位置。
奥行方向：ブラケットのネジ穴（前）がガイドレール前面より25ミリの位置。

② 取付け

仮止め用両面テープのハクリ紙をはがし、仮固定後、ネジ穴（前）を使用し、取付ネジで取付けます。

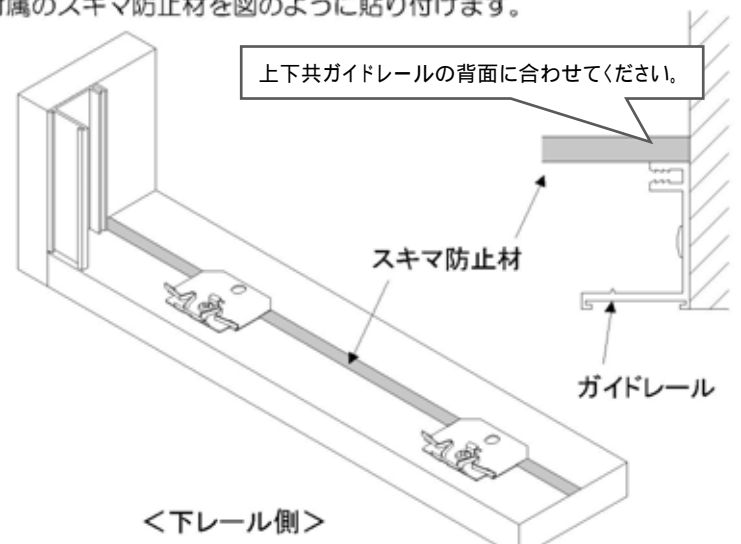
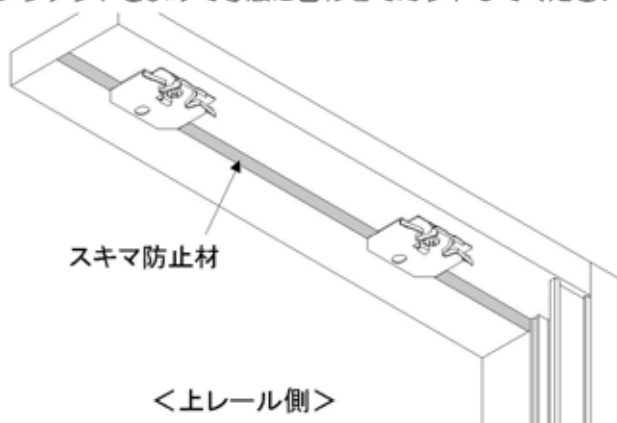


4. 上下のスキマをふさぐ

上レール・下レールと窓枠の間のスキマを埋めるために、付属のスキマ防止材を図のように貼り付けます。

ポイント

●ブラケットをよけて寸法に合わせてカットしてください。



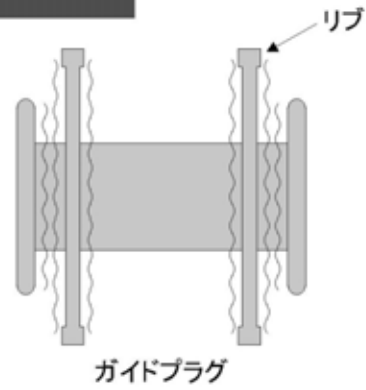
スクリーン本体の取付け

1. 潤滑剤の塗布

図のように、ガイドプラグのリブ（波線の部分）に付属の潤滑剤を塗布します。

🙏 お願い

- この潤滑剤は表記の用途以外に使用しないでください。



2. スライドレールのガイドレールへのセット

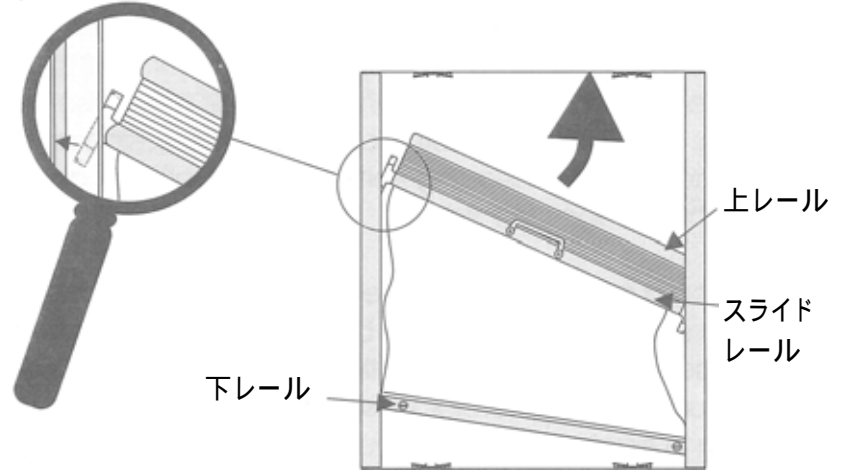
⚠ 注意

- 上レール・下レールを間違えないように確認してください。
上レール：バネが付いている。
下レール：テンションボルトが付いている。

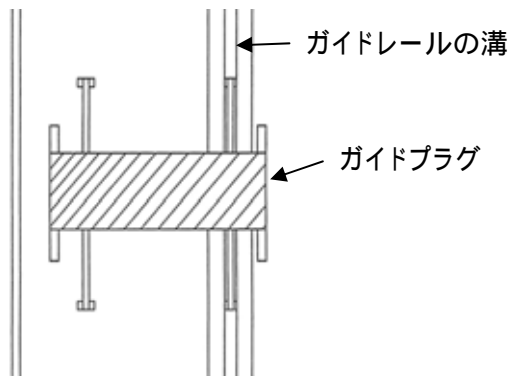
スクリーン本体を斜めにしながら片側からガイドプラグのリブをガイドレールの溝に合わせて奥まで押し込みます。

👉ポイント

- カチッという音が3回聞こえればしっかり押し込まれた状態です。



スクリーン表側

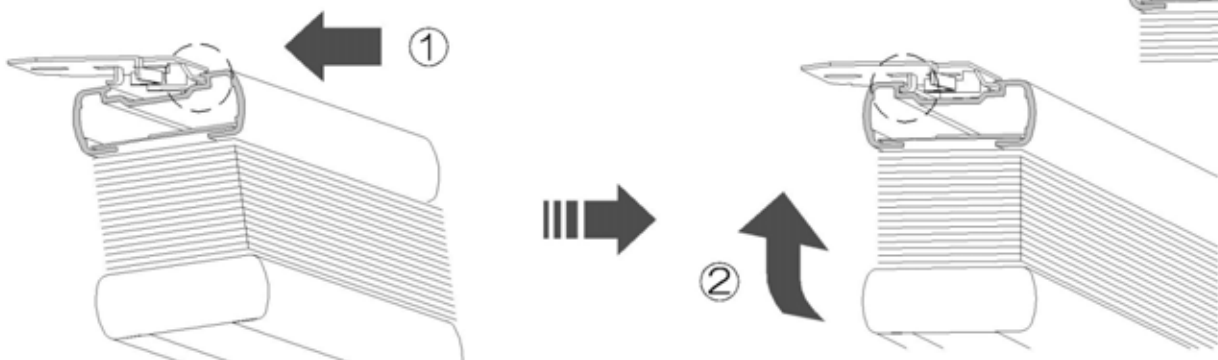
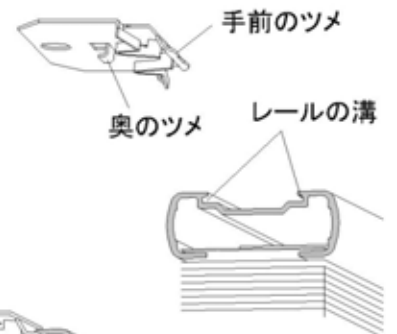


ガイドレール断面図



3. 上レール・下レールの固定

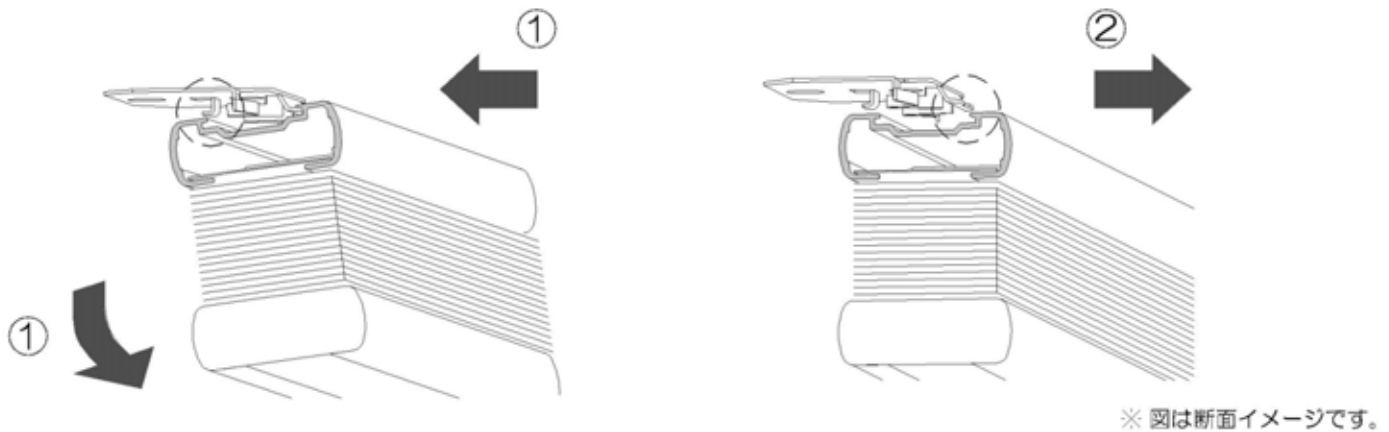
- ① レールの手前側の溝にブラケットの手前のツメを差し込みます。
- ② そのままスクリーン本体を奥へ押した後、スクリーン本体を上へ押し当ててレール奥側の溝にブラケットの奥のツメを差し込みます。



※ 図は断面イメージです。

●スクリーン本体の取外し方法

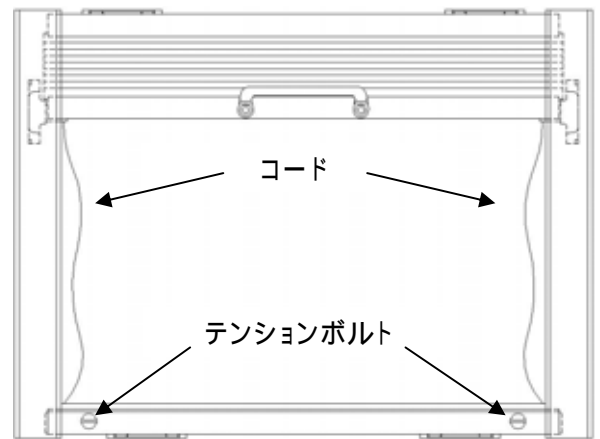
- ① スクリーン本体を奥へ押しながらレールの奥側の溝に掛かっているツメを外します。
- ② スクリーン本体を手前に引いて、レールの手前の溝からブラケットの手前のツメを外します。



コードの張り(テンション)の調整

1. スクリーンを収納した状態にします。
2. マイナスドライバーでテンションボルトを時計回りに回転させ、左右のコードの張りを均等に強めます。

以下の表を参考にして、スライドレールを操作しながら調整してください。



状態	原因	調整方法
スライドレールの操作が重い	コードの張りが強すぎる	テンションボルトを回転させ、ゆるめます。
スライドレールが任意の位置で止まらない	コードの張りがゆるすぎる	テンションボルトを回転させ、強めます。
スライドレールが上下レールと平行になっていない	左右のコードの張りが均等になっていない	張りが左右等しくなるように、片方、または両方のボルトを回転させます。スライドレールはコードの張りを強くした側が下がります。

お手入れ方法

ハニカム・サーモスクリーンの生地はポリエステルの不織布ですので、お手入れが簡単です。スクリーンについたほこりはハタキ等で定期的に払っていただくことをお勧めします。またほとんどの染みは、水または水で薄めた中性洗剤で湿らせたスポンジで落とすことができます。

🙏お願い

- たわし、金属ブラシ等で、スクリーン部分・アルミ部分をこすらないでください。破損やキズの原因になります。
- 漂白剤の使用は生地の変色や劣化を招くことがありますのでおやめください。



■製品に関するお問い合わせ先

セイキ総業株式会社 埼玉県所沢市東所沢5-10-3 〒359-0021 Tel 04-2951-7221 Fax 04-2951-7220